電子情報工学科大ゼミ（同窓会支援企画）「先輩からのメッセージ」

（社会で活躍する OB/OG から学生の皆さんの将来に向けた提言）

4 年目を迎えた本講演会は，例年同様，10 月から 1 月の間に 4 回，8 名の OB/OG の皆様をお迎えして行われました．その後，私たちは大震災を経験し，日本はいまだに混乱の中にあります．また世界情勢も不安定で，あらゆるものが流動的です．講師の皆様からよく聞く言葉:グローバル化の波をひしひしと感じる昨今です．ただ，これまでもそんな時事問題に囲まれながら，何とか工夫し，努力し，綱渡りで乗り切って来た経験を多くの方がお持ちです．ここでは，講師の皆様の経験から生まれた教訓，思い，格言などをご紹介します．同窓生の今を生きる一助になれば幸いです．

稲田浩一さん（1963 年卒，フジクラ）「光ファイバー研究開発 30 年」
―― フジクラの元社長，本学科の元同窓会長の稲田さん．インターネットの基盤技術となる光ファイバー通信の黎明期に，ファイバーの最低損失で世界をリードし，フジクラを一流企業に発展させた素晴らしいご経歴．ゆっくりとした語り口と示唆に富むスライドでお話しいただきました．就職時に通信部門への配属を希望して出身学科を「通信工学科」と書かれたとか．また「石の上にも三年」＝どんな人でも 3 年頑張れば世界の頂点に立てる！という座右の銘は，学生に大きな勇気を与えてくれました．

徳田裕人さん（1996 年卒，ソニーセミコンダクター九州）「次世代映像デバイスの開発とアプリケーション」―― 九州から駆けつけてくれた徳田さん．卒業研究では外国誌論文につながる成果をあげ，就職後は転職や転勤を繰り返した後，現在は熊本でディスプレイ製造のキーマンとして活躍されています．液晶テレビは CM キャラクターで決めよ，3D はマニアが買えばいい，留年でなく留学したかった．．．等々，大変ユーモアに富んだお話で会場を楽しませてくれました．夜には懐かしの居酒屋： 和田町・清八に再訪して感激のご様子．

白井和彦さん（1970 年卒，協和テクノロジィズ）「百年に一度の不況を乗り切る為の IT 企業の戦略例」―― NEC で通信伝送技術に従事した後，ネットマークスを経て，現在は協和テクノロジィズで社長代理を務める白井さん．環境・エコ，省人化，アウトソーシング，クラウド，スマートフォンといった最近のトレンドに注目し，幅広い知識とセンスがものをいう近年のソリューションビジネスについて多くの事例を交えながらわかりやすく解説していただきました．また謎の鳥，カン理職，ギ術者といったユーモアに富んだ余談もご披露いただき，学生だけでなく私たち教員も大変勉強になりました．

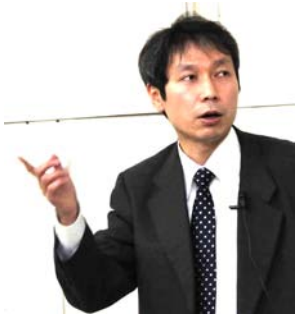
福澤英明さん（1995 年卒，東芝）「企業における研究開発活動から感じた、若手へのメッセージ」―― 東芝の研究所で GMR などハードディスク技術を開発してきた福澤さん．就職後も自分をサラリーマンと思ったことはない，世界では主張しなければ何も理解してもらえない，全人格的コミュニケーションで周りが動く，自分に合ったやり方を発見するのが大事などなど，強烈なご意見を吐露していただきました．また建設現場のアルバイト，カナダ自転車の旅，中国放浪記など，波乱万丈の学生時代．後で「実は授業も真面目に出ていた方なんですが．．．」という言葉に私たちも一安心．

福井美佳さん（1986 年卒，東芝）「あなたのヒューマンインターフェースを考える」――女性でも働きやすいという思いで情報工学を学び，東芝に入社後はヒューマンインターフェース，製品デザイン，男女共同参画，企画室などの業務を経験された福井さん．質問応答型家電ヘルプシステムを開発した経験で会得した正しいインタビューの仕方を会場の学生全員で実践．決して誘導せずにねばり強く相手の本音を引き出す，被インタービューアーの評価をフィードバックするという手法を伝授いただきました．それを通じて何ができる／できないのかを判断するのが重要とか．

宮澤俊之さん（1997 年卒，東京大学）「再挑戦」――超伝導の研究で本学学部を卒業，素粒子研究のために東大で修士課程を過ごした宮澤さん．さらに NTT，富士通と渡り歩き，現在は量子ドットの研究員として東大に出向中という自由人．常に自分のやりたいことを選択してきたという自信と，一つのことで重要な結果を出す機会を逸したかも，という後悔が入り交じった，人生を感じさせる講演になりました．後日，言い忘れたと伝言されたのが，ご自身も研究員業務の傍らで取得を目指している博士号の大切さ．「博士号は自立した研究を進めるための運転免許証！」

影井良貴さん（1978 年卒，NTT データ）「情報ネットワーク社会と情報セキュリティ」――情報セキュリティの研究開発を指揮した貴重な経験をお話しいただきました．銀行や鉄道のシステム障害，パチンコシステムの偽造カード被害など，今や一度のトラブルが数百億円規模の損失を引き起こすとのこと．今後も個々の技術について最先端のセキュリティ強化を続けることに加え，全体の仕組みやそれを使う人のセキュリティーの大切さを忘れてはならない！「人の噂は 75 年」，「百聞も百見も大差無し」，「便りのないのは詐欺に注意」とは情報化社会における格言とか．

古瀬充穂さん（1996 年卒，産業総合研究所）「独立行政法人でのエネルギー技術研究開発」――学生時代に出逢った超電導技術，その歴史や特徴に加え，発電・送電などエネルギー分野，リニアモータカー，医療の MRI など広範な応用をご紹介いただきました．博士課程がどのように役立ったか，世界との競争，環境エネルギーに関する国の施策，CO_2 問題の見通しなど，いままさに興味深い話題ばかり．資源が乏しい日本にとって「技術」と「サービス」は宿命，重点化と多様化のバランス！今でも自分を支える塚本先生のお言葉「窮理力行」とは，理屈に行き詰まったら力ずくで解決せよ！という意味．



皆様の講演のおかげで，同窓会の学生支援活動を定着させることができました．学生が同窓会の存在を実感し，OB/OG の語りが自分の将来を考えるきっかけになる例が出てきています．さらに昨年も書きましたが，講演会に来ていただいた OB/OG の方々に今の大学に接していただき，学生時代を思い出していただく効果も出ているような気がします．また昨今，学生の就職活動が長期化し，OB/OG と接する機会が以前より増えているようです．このような交流をさらに推進するため，本誌の同窓会長挨拶でも触れられているように，学生会員の導入や新しい情報システムの導入を現在検討中です．今後もご支援，ご協力いただきますよう，どうぞよろしくお願いします．

（1985 年卒馬場俊彦，1984 年卒吉川信行（本学教員））